



治療へのアプローチ

吳 澤森

弁証

弁証結果

弁証：気虚証

治則：健脾益気・昇清化湿

取穴：脾兪・胃兪・章門・中脘・百会・水分・気海・足三里・三陰交

手技：脾兪・胃兪は脊柱に向けて斜刺 1.2 寸，捻転補法。中脘・水分は直刺 1.3 寸，捻転，提挿法。章門は腹部の正中線に向けて斜刺 0.8 寸，提挿法。百会は前方に向けて横刺 0.5 寸。足三里・三陰交は直刺 0.5 寸，小さな幅で捻転補法。置鍼 50 分。

取穴解説

脾兪・胃兪・章門・中脘——脾胃の兪募配穴で協力しあって脾胃の働きを整える。

百会・足三里・気海——益気・行気・昇清。

水分・三陰交——益脾・化湿。

治療経過

11月 3日 初診。上記の通り治療。

11月 10日 初診から1週間で2回の発熱(37.3～37.5℃)があった。脈細弱，右関部細無力，舌苔が薄くなり，黄色は消失した。治療は前回と同じ。

11月 14日 最も心配していた発熱は今日までみられず，体調は前より良くなってきた。食欲も前より増えてきた。焼魚(サンマ1匹)を食べても胃に変化は起こらない。便はまだ軟便と下痢が交互に続いている。気海・水分に隔物灸(中国産の附子餅)2壮を施す。他は前回と同じ。

11月 17日 前回の治療は効果が非常に良かった。便は少し軟らかいが，下痢は止まった。食欲がでてきた。脈細，舌苔薄，舌質淡紅色。治療は前回と同じ。

11月 21日 食欲が倍増し，なんでもおいしく食べられる。熟睡できるようになった。めまいは消失。体に熱感はあるが発熱はしない。脈細，舌苔薄。治療は水分・気海の隔物灸を中止し，治療は初回と同じ。

11月 24日 体重が2kg増えた。発熱なし。便の形はほぼ正常になる。体のだるさ